

2024 年度

公益財団法人東京子ども図書館

年次報告

〒 165-0023 東京都中野区江原町 1-19-10

2025 年 7 月発行

Tel. 03-3565-7711 Fax. 03-3565-7712 URL <https://www.tcl.or.jp>

蛹から つぎの飛翔へ

理事長 張替恵子



当館インスタグラムでも折々お知らせしましたが、児童室では、5月末からアゲハの幼虫を飼育ケースに入れて展示しました。職員の家の庭からやってきたこの幼虫、サンショウの葉をもりもり食べてずんずん大きくなるので「サンちゃん」という呼び名がつき、利用者の子どもたちも、職員たちも興味津々でその成長を見守りました。

6月初旬のある日、サンちゃんは、やたらと動きが激しくなりました。虫に詳しい職員が、これは蛹になる前兆と見抜き、支えになる割り箸をケースに差し入れました。まもなく幼虫は糸を出して、その割り箸にぶら下がり、眠るように動きが止まりました。4センチほどの薄緑色の体の内側では、大改造がおこなわれ、華麗な蝶の姿になるのだと思うと、太古から続く生命の営みに、あらためて驚異の念を感じずにはいられませんでした。

さて、昨年、財団設立 50 周年を迎えた当館は、通年の子どもの図書館講座や機関誌特集などを軸に、館の歩みを振り返り、今後の展望をみなさんと考えたほか、松岡名誉理事長のお話普及の業績をたどったドキュメンタリー映画の製作と、その完成披露上映会&バザーなど久々の大規模行事を催しました。また、伊藤忠記念財団との協働による文庫運営の手引きの作成や、ギャラリーエークウッドでの松岡享子展への協力、福音館書店との共同企画による復刊童話シリーズや松岡さんの翻訳『中国のフェアリー・テール』の刊行記念イベントにも加わるなど、外部との連携も活発でした。

これらを行うために昔の資料を掘り起こし、読み直す膨大な作業は、過去の日々と向き合う貴重な時間となりました。コロナ禍、そして松岡さんの旅立ち……と、思いがけない波瀾に、目の前のものと格闘する日々が続き、正直、50 周年に注ぐエネルギーが枯渇しているのでは、という不安がありました。が、コロナの置き土産のように持ち上がった施設大改修、その資金調達のためのクラウドファンディング初挑戦と、むしろエンジンを吹かし馬力を上げることに。当館の命運をかけた応援要請に、予想以上のご支援が寄せられ、新たなエネルギーが満ちてくるのを感じます。

目下、改修設計の最終段階にきており、8月からは資料室蔵書の燻蒸、10月からは工事開始の日程が固まりつつあります。来年2月のリニューアルオープンに向けて、閉館が続きご不便をおかけしますが、館内では着々と作業を進め、アゲハの蛹に負けないような心躍る変身、そして飛翔となるように、力を尽くしたいと思います。

50

東京子ども図書館 設立 50 周年記念企画

ドキュメンタリー映画

「松岡享子 お話の種まきをした人

——東京子ども図書館の活動をととして」

完成披露上映会 & バザー

監督: 森 英男 制作: 東京子ども図書館 11月18日(月)

会場: なかの ZERO 西館小ホール

冷たい風の吹く中、当日は、昼夜合わせて800名近い方々が会場に集いました。当初、昼の部のみを実施する予定でしたが、広報直後から、予想を上回る反響があり、急遽、夜の部を追加しました。

上映が始まると、少女時代の松岡さんが木登りをする写真などで、笑い声が出る一方、松岡さんの懐かしい姿や声に、感極まる方も多くいらっしゃいました。「お話を語る」とはどういうことなのか、映画を通して体感できた」と感想を寄せてくださった方もおられました。続く、森監督と張替理事長によるトークでは、監督と松岡さんの出会いのきっかけや、制作の苦労などについてお話しただきました。

松岡さん製作の陶器などが出品されたサイレントオークションや、同日より開始したクラウドファンディング(→9頁)の説明も行い、会のおしまいには、松岡さんが好きだった縁起のよいわらべうた「オイノコサンラ イワイマシヨ」を、皆様と一緒にうたいました。

「会場の一体感を強く感じた」と言ってくくださった方も多く、きっと松岡さんも喜んでくれたのではないかと思います。

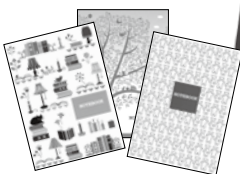
この会では、総勢26名のボランティアの方々、運営を助けてくださいました。重ねて、感謝申し上げます。(参加者: 昼の部431名、夜の部320名 延べ751名)



松岡享子作 陶器



↑ トートバッグ



← mini ノート

上映会の前後の時間には、会場ロビーにてバザー(主催: 東京子ども図書館を支援するバザー実行委員会)を開きました。おなじみの“手づくりはたのし”工房、ドライフラワーのリース屋さんが出品してくださったほか、当館オリジナルプリント生地を用いた手芸品や、特製マッチ箱も会場に並びました。対面のバザーは5年ぶりとなり、お客様もお買い物をたのしんでくださいました。

また、この日に合わせて『東京子ども図書館 50年のあゆみ』を刊行しました。設立当初から現在までの写真がたっぷり掲載されています。また、当日上映した『松岡享子 お話の種まきをした人』のDVDと、松岡さんの語るお話が2話収録されたCD『語りをつたへよう 松岡享子のお話』をこの日から発売しました。この3点は2025年池田正孝写真カレンダーと合わせてお得なセット販売もしました。大社玲子さんのイラストが入ったトートバッグや、mini ノートも好評でした。

売上は、バザー、ブックショップ、サイレントオークションを含め、およそ550万円となりました! 皆様のご協力に感謝申し上げます。

一年のあゆみ

L = ライブ配信

R = 録画配信

4月

- ・第40期お話の講習会開講（5日）
- ・機関誌「こどもとしゃかん」刊行（20日、7/20、10/20、1/20）
- ・おとなのためのお話会（27日、他13回）
- ・杉並区立桃井第二小学校でブックトーク（27日）

5月

- ・子どもの本蚤の市（30日～6/1）

6月

- ・ブックトークカフェ・なないろ（29日、10/26、1/25）

7月

- ・短期お話の講習会・初級コース（11日、10/10）
- ・真壁伍郎氏講演会（17日～8/30）（3/19～5/12）**R**
- ・児童室夜のお話会（27日）
- ・『読者としての子ども』刊行（30日）

8月

- ・第23期子どもの図書館講座（1日～3/31）**L R**
- ・ブックトーク祭り（2日、3日）**L R**
- ・児童室ごろごろタイム
（6日、7日、10日、28日、30日、31日）
- ・ブックトーク・ワークショップ2024（21日、22日）
- ・『おはなしのろうそく34』刊行（30日）

9月

- ・筑波大学より実習生を受け入れ（10日～28日）
- ・児童室おばあさんのいす（14日）

10月

- ・学習院初等科でお話（25日）

11月

- ・ドキュメンタリー映画完成披露上映会&バザー（18日）
- ・クラウドファンディング開始（18日～1/31）

12月

- ・かつら文庫クリスマス会（7日）
- ・池田正孝氏スライド&トーク（18日～1/31）**R**
- ・バザーコーナー開設（19～26日）
- ・児童室クリスマス会・ミニバザー（21日）

1月

- ・愛心幼稚園でお話（31日）

2月

- ・第39期お話の講習会 修了お話の会（11日）
- ・中野区立江原小学校でお話（18日、20日、26日）
- ・『三月ひなのつき』朗読会（27日）

3月

- ・かつら文庫のひなまつり（1日）
- ・児童室子どもバザー（12日）
- ・『ランプシェード』読書会（13日）
- ・賛助会員の集い（29日）**L**

I 概況

今年度は、上映会やクラウドファンディングを含む、設立50周年を記念した様々な事業を実施しました。コロナ以降、人の動きが活発になったことで、1階ホールを利用した外部団体による、公開お話会が複数回行われたほか、お話会付きの見学も増えました。

児童室は、「夜のお話会」や「クリスマス会」を、5年ぶりに開催。夏休み期間には、新たな試みとして、ホールにラグマットを敷きくつろいで過ごしてもらう「ごろごろタイ



ム」を実施しました。

かつら文庫も月に2回開き、小学生も、ゆったりと本を楽しんでいる姿が見られます。大人の方向けには、5年ぶりに『三月ひなのつき』の朗読会

も開催できました。

資料室は、次年度の改修工事に向けて、蔵書構成・資料の見直しや、改修後の資料室のレイアウト、松岡さんにちなんだ資料コーナーの内容などについて、話し合いを重ね、併せて、施設全体の改修計画を進めました。

講演・講座では、第23期子どもの図書館講座、真壁伍郎氏講演会やブックトーク祭り等をオンラインで開催し、全国から参加がありました。一方、虹の会との共催で行うブックトークカフェは、久しぶりに対面での実施となり、参加者同士のよい交流が生まれています。講師の派遣は68件で、中には韓国の団体から、オンライン講座の依頼もありました。

児童室での実習を中心に、図書館奉仕の実際を具体的に学ぶ、研修プログラム生（特別枠）には、3名を受け入れました。この試みは充実した成果を生み、新たな研修制度の可能性が感じられました。

SNSによる発信も活発で、特にクラウドファンディング挑戦期間中は、職員紹介や日々の出来事等を、毎日、投稿し、閲覧した方々からは、当館のことを身近に感じられるようになったと好評でした。

事務関係では、経理業務の一部委託と、会費・在庫管理の新システムを導入してから2年が経ち、いずれも軌道にのりつつあります。

例年の事業に、50周年事業が加わり、実り多い一年となりました。印刷費や建物・設備の維持費等の高騰により、財務収支面では厳しい状況が続いています。安定した財団運営をするにはどうすべきか、引き続き考えてまいります。

■ 会員管理

今年度の賛助会員数は1,757名(1,795)、機関誌読者数は3,418(3,552)名でした。ともに減少が続いていますが、機関誌や出版物をご覧いただいた方や、講演・講座でお会いした方、当館にご見学にいらした方などが新しい会員になってくださいました。さらにご支援の輪を広げるため、クラウドファンディングやSNSなどをきっかけに、ご興味をもってくださった方々への働きかけを続けたいと思います。

()は昨年度

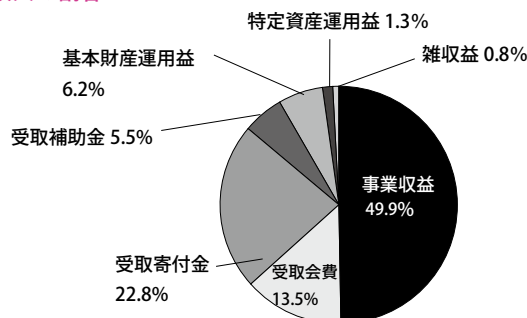
■ 都道府県別 賛助会員数・機関誌定期読者数

(2025年3月31日現在)

● 賛助会員数および機関誌定期読者数 (当館から直接発送)					
都道府県名	賛助	読者	都道府県名	賛助	読者
北海道	22	47	滋賀県	8	16
青森県	9	13	京都府	18	43
岩手県	14	24	大阪府	60	116
宮城県	17	33	兵庫県	57	144
秋田県	3	3	奈良県	59	89
山形県	10	16	和歌山県	8	16
福島県	7	16	鳥取県	15	20
茨城県	32	49	島根県	32	74
栃木県	31	43	岡山県	12	23
群馬県	15	13	広島県	33	57
埼玉県	129	180	山口県	10	24
千葉県	129	189	徳島県	0	2
東京都	460	618	香川県	4	13
神奈川県	193	251	愛媛県	2	9
山梨県	9	16	高知県	13	18
長野県	45	66	福岡県	37	59
新潟県	26	46	佐賀県	0	0
富山県	7	16	長崎県	9	14
石川県	18	28	熊本県	6	19
福井県	22	25	大分県	12	19
岐阜県	7	23	宮崎県	9	14
静岡県	72	103	鹿児島県	9	22
愛知県	51	90	沖縄県	5	7
三重県	8	19	海外	3	13
● 書店経由の機関誌定期購読者数					660
合計				1,757	3,418

Ⅲ 財務状況について

● 収入の割合



■ 財務諸表

貸借対照表 2025年3月31日現在 (単位:円)

科目	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	49,659,856
未収金	3,265,461
前払金	156,830
販売用図書	28,296,137
販売用機関誌	2,827,887
流動資産合計	84,206,171
2. 固定資産	
(1) 基本財産	
土地	361,224,400
建物	170,413,705
著作権	39,253,978
定期預金	40,000,000
基本財産合計	610,892,083
(2) 特定資産	
子どもたちに本を贈ろう基金	6,328,449
本よんでうれいさん基金	25,901,596
50周年記念事業積立資産	34,947,131
公益事業運営積立資産	85,242,178
特定資産合計	152,419,354
(3) その他固定資産	
建物附属設備	3,939,960
構築物	86,982
什器備品	102,333
図書	54,168,175
ソフトウェア	656,700
その他固定資産合計	58,954,150
固定資産合計	822,265,587
資産合計	906,471,758
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	1,351,371
未払消費税等	2,561,700
前受金	4,771,248
前受会費	10,425,100
預り金	686,367
流動負債合計	19,795,786
負債合計	19,795,786
III 正味財産の部	
1. 指定正味財産	
寄付金	67,177,176
指定正味財産合計	67,177,176
(うち特定資産への充当額)	(67,177,176)
2. 一般正味財産合計	819,498,796
(うち基本財産への充当額)	(610,892,083)
(うち特定資産への充当額)	(85,242,178)
正味財産合計	886,675,972
負債および正味財産合計	906,471,758

正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日（単位：円）

科目	金額
I 一般正味財産増減の部	
1. 経常増減の部	
(1) 経常収益	
基本財産運用益	7,300,740
基本財産受取利息	6,860
基本財産受取印税	7,293,880
特定資産運用益	1,503,020
特定資産受取配当金	1,503,020
受取会費	15,987,540
賛助会員受取会費	15,987,540
事業収益	58,999,647
研修事業収益	12,338,181
施設事業収益	515,100
著作権使用収益	1,874,489
出版事業収益	42,395,305
取材・資料協力事業収益	1,876,572
受取補助金等	6,535,585
受取国庫補助金	0
受取民間助成金	6,535,585
受取寄付金	26,917,755
受取寄付金	9,527,518
受取寄付金振替額	17,006,194
図書受贈額	384,043
雑収益	985,084
受取利息	27,404
雑収益	957,680
経常収益計	118,229,371
(2) 経常費用	
事業費	118,111,040
役員報酬	5,581,440
給料手当	43,454,786
退職給付費用	893,760
法定福利費	6,779,529
福利厚生費	42,468
研修費	417,638
会議費	111,161
旅費交通費	1,005,316
通信運搬費	4,505,967
減価償却費	6,328,687
図書費	70,489
図書寄贈費	348,920
消耗品費	405,026
修繕費	5,103,165
印刷製本費	19,348,413
光熱水料費	1,508,955
保守費	1,191,541
賃借料	1,703,129
保険料	165,357
諸謝金	821,862
租税公課	4,152,500
支払手数料	9,233,139
諸会費	53,200
広告宣伝費	176,154
支払助成金	158,400
原稿料・印税	222,500
販売用図書仕入費	471,873
委託費	3,779,660
雑費	76,005
管理費	10,316,278
役員報酬	552,560
給料手当	2,917,751
退職給付費用	66,240

科目	金額
法定福利費	502,457
福利厚生費	23,147
研修費	88,000
会議費	11,400
渉外費	80,970
旅費交通費	30,746
通信運搬費	63,619
減価償却費	911,971
消耗品費	24,534
修繕費	0
印刷製本費	30,260
光熱水料費	97,995
保守費	88,309
賃借料	397,994
保険料	8,198
諸謝金	4,204,474
租税公課	2,264
支払手数料	11,363
諸会費	79,550
広告宣伝費	4,736
委託費	94,440
雑費	23,300
経常費用計	128,427,318
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 10,197,947
特定資産評価損益等	△ 16,565,883
評価損益等計	△ 16,565,883
当期経常増減額	△ 26,763,830
2. 経常外増減の部	
(1) 経常外収益	
経常外収益計	0
(2) 経常外費用	
固定資産除却損	166,716
什器備品除却損	0
図書除却損	166,716
経常外費用計	166,716
当期経常外増減額	△ 166,716
税引前当期一般正味財産増減額	△ 26,930,546
法人税、住民税及び事業税	70,000
当期一般正味財産増減額	△ 27,000,546
一般正味財産期首残高	846,499,342
一般正味財産期末残高	819,498,796
II 指定正味財産増減の部	
受取寄付金	63,913,581
受取寄付金	63,913,581
一般正味財産への振替額	△ 17,006,194
寄付金	△ 17,006,194
当期指定正味財産増減額	46,907,387
指定正味財産期首残高	20,269,789
指定正味財産期末残高	67,177,176
III 正味財産期末残高	886,675,972

今年度は、施設改修のために頂いた寄付金を「50周年記念事業積立資産」として計上し、特定資産が大きく増加しました。また、「本よんでうれしいさん基金」により、かつら文庫の外壁改修工事を行わせて頂きました。50周年記念事業にも意欲的に取り組み、出版事業収益などの収益が大きく増加しましたが、要した費用も大きく、赤字決算となりました。引き続き、皆様によりよく図書館をご利用いただけるよう創意工夫し、施設改修を行うと共に、収支の改善と安定した運営を目指します。